

N I E 実践報告書

尚志館高等学校

本校では部活動文化部の1つとして「NIE 研究会」をつくり、1年生7名、2年生7名、3年生5名で活動しています。授業では新聞を教材として扱ったり、南日本新聞社「若い目」への投稿活動、文化祭での展示発表、夏休みには毎年テーマを決め夏季学習会を実施しています。新聞を通して生きた社会を学び、「読む・書く・伝える」技能の向上を図っています。



昼休み中の活動の様子

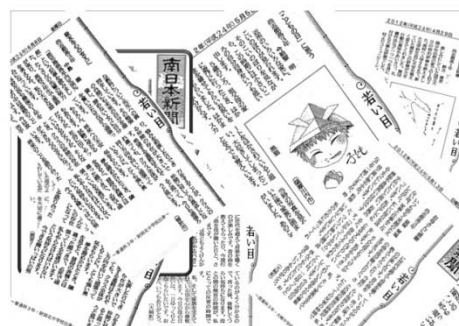


授業での活用の様子

1 南日本新聞「若い目」への投稿活動

実践校4年目を終えようとしていますが、平成24年4月からこれまで65名の生徒が掲載されました。

(平成30年1月現在)



【若い目賞】

南日本新聞社より、「若い目賞」をいただきました。全校の集会で紹介され、生徒の大きな励みとなりました。



2 これまでのNIE学習会の歩み

新聞記事の中から旬なテーマを見つけ出し、話し合っ
て見学地を決め、夏休みなどを利用し、実際に見学や体験を
しました。

【平成 24 年度 川内原子力発電所 見学】

川内原子力発電所を訪問し、学習会を行いました。付近の川内火力発電所も見ることができ、今後のエネルギーのあり方を考える機会となりました。また、南日本新聞社から東日本大震災の報道写真をお借りし、文化祭でパネルの展示も行いました。



【平成 25 年度 南日本新聞社 見学】

実際に見たり質問をしたり、今まで知らなかった新聞の読み方や楽しみ方を教えてくださいました。また、取材から私たちに届くまでの流れを知ること
で、さらに理解が深まりました。輪転機の見学もでき、インクの匂いは今でも忘れられません。



【平成 26 年度 MBC 南日本放送局 見学】

「新聞とテレビの比較」をテーマに放送局を見学し、マスメディアの重要性、ニュースを伝える現場を肌で感じました。新聞の良さ、テレビの良さを再認識できる貴重な体験でした。



【平成 27 年度 鹿児島地方・家庭裁判所 見学】

裁判所の判決の記事に注目してみました。悲しい事件や争いごとに関する多くの新聞記事を目にします。実際に裁判の現場を見学することで、刑事裁判や民事裁判の理解を深め、裁判所の役割について深く考える契機となりました。初めての模擬裁判も体験しました。



【平成 28 年度 情報・CG やロボットの技術に触れる体験学習 】

福岡市の麻生情報ビジネス専門学校の協力で、コンピュータや情報通信機器を使って体験学習を行いました。生徒たちはロボットを動かすための走行プログラム入力に苦戦しました。予期せぬロボットの動きに笑顔もこぼれていました。



【平成 29 年度 資源と環境 大分・八丁原地熱発電所見学】

地下から取り出した蒸気を取り出して、電気をつくる地熱発電のしくみを学び、火力・水力・原子力発電所についてもあらためて考えられる時間でした。資源とエネルギーの大切さを実感できました。巨大なタービンの迫力、予想をはるかに超える音に驚きました。



実践校 4 年目の目標と実践

- ① “新聞を読んだ知識をいかそう”
- ② “本校の目標としていた新聞を通して生きた社会を学び、「読む・書く・伝える」技能の向上を目指す中で、「伝える」部分に最後に挑戦してみよう。”

3 おわりに

新聞を通して、生徒が社会で起こっている様々な出来事に関心を寄せ、それに関する自らの考えを新聞に投稿するといった主体的な活動を行うことができました。その他にも、それぞれの学科独自の行事や実習等で考えたことを新聞に投稿し、実際に掲載されることで喜びを得る生徒もみられました。今後も積極的に新聞を活用した授業実践や投稿活動を行い、生徒の考えや思いを深めさせていければと思います。

4 年間、実践校として大変貴重な経験をさせていただきありがとうございました。たくさんの方々からアドバイスや応援をいただき無事に終えることができました。これからの目標は、実践校としての役目を終えても、NIE 活動を『継続』することです。今後ともよろしくお願いします。